

いざ!

というときのために、 水害への備えをしましょう。

日頃からの備えが、いざというときに
必ず役に立ちます。

普段の心がけ

非常食や持ち出すものの 準備



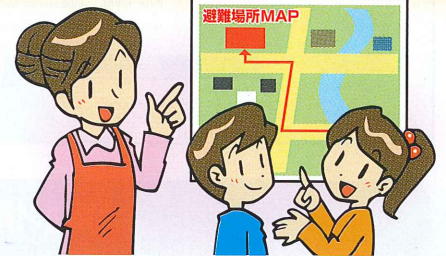
非常食には、調理の手間がかからず、水もあまり使用しないもの(レトルト食品や缶詰など)を選びます。
また、懐中電灯やラジオ、乾電池も忘れずに用意しておきましょう。

大雨に備えて、家のまわりを 見直しましょう



家のまわりに吹き飛ばされそうなものがないか確認しておきましょう。
また、家の前の排水溝が詰まっていないかの確認も重要です。

避難所や避難する道の確認



洪水ハザードマップには、洪水時に避難する場所が示されています。
自分の地区の避難所はどこなのか、そこへ行くためにはどう行けばいいのかを確認しておきましょう。

市町村から発令される避難情報について確認しましょう!

避難勧告や避難指示(緊急)を発令することが予想される場合

災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合

災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まった場合

避難準備・ 高齢者等避難開始

- 避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難を開始しましょう。
- その他の人は、避難の準備を整えましょう。

※必ずしも、この順番で発令するとは限らないので、ご注意ください。

また、これらの情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は避難を開始してください。

避難勧告

- 速やかに避難場所へ避難をしましょう。
- 外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。

避難指示(緊急)

- まだ避難していない人は、緊急に避難場所へ避難をしましょう。
- 外出することでかえって命に危険が及ぶような状況では、近くの安全な場所への避難や、自宅内のより安全な場所に避難をしましょう。

避難の心得

正確な情報収集と 自主的な避難



ラジオやテレビなどで気象情報、災害情報、避難情報を注意して、雨の降り方などに危険を感じたら、自主的に避難しましょう。

※テレビのデータ放送でも雄物川の河川水位を確認できます。

避難の呼びかけに注意



危険が近づいたときは、町や消防などから避難の呼びかけをすることがあります。

呼びかけがあった場合には、速やかに避難してください。

速やかな避難



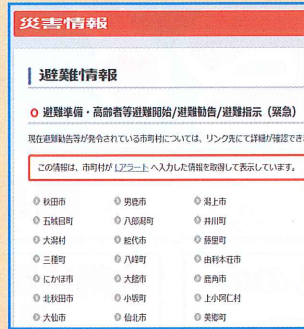
避難勧告などは、危険が近づいたときに出されますので速やかに避難しましょう。

避難のときは消防などの指示に従いましょう。

雨はどこで降っているの？ これから行く場所は安全？

川の水位はどれくらい？

秋田県防災ポータルサイト 秋田県内の防災情報が一目でわかる！



アクセス!
●パソコン・スマートフォンから
<http://www.bousai-akita.jp/>

洪水情報が緊急速報メールで発信されます！

平成29年5月から、国が管理する雄物川で、川が氾濫する可能性が高まった時に、その周辺にいる人に氾濫の危険をお知らせする情報が自動で発信されるようになりました。



緊急速報メールが来たらまずチェック! 国土交通省 川の防災情報

雨の状況が分かる!

今、どこでどれくらいの雨が降っているのかを知ることができます。

川の様子分かる!

CCTVカメラの映像で、現在の川の様子分かり、川に近づかなくても状況を知ることができます。

川の水位が分かる!

川に設置した水位計で、近くの川の水位がどのような状況になっているのかを、リアルタイムで確認することができます。

アクセス!
●パソコンから
<http://www.river.go.jp/>
●スマートフォンから
<http://www.river.go.jp/s/>

スマホ版「川の防災情報」では、位置情報を取得することで、今いる場所の雨の様子や近くの川の状態をすぐに知ることができます。

気象庁 ~気象災害から命を守るために~ 大雨警報(浸水害)・洪水警報の危険度分布

危険度分布は、雨によって引き起こされる浸水害、洪水害の危険度の高まりの予測を地図上で色分けしてお知らせします。大雨警報や洪水警報が発表されたときに、お住いの地域に迫る危険度の高まりを一目で把握することができます。

大雨・洪水警報の危険度分布をクリック!

大雨警報(浸水害)の危険度分布
2017年 7月23日5時

洪水警報の危険度分布
2017年 7月23日5時

危険度: 高 (High), 低 (Low)

アクセス! ●パソコン・スマートフォンから <http://www.jma.go.jp/>